施策評価シート(令和4 年度の振り返り、総括)

作成日 令和5 年 04月 07日

施策 No.	14	施策名	健康づくりの推進					
主管課名	健康増進課	電話番号	0285-83-8122					
関係課名	- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							

1. 計画(Plan)

施策の対象	市民						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
人口	人	78,874	78,592	77,635			

施策の目標	市民が生涯にわたり、健康でいきいきと暮らすことができる健康寿命の延伸に向けて、それぞれのライフステージに合わせた健康づくりを実践します。									
成果指標設定の 考え方及び 指標の把握方法 (算定式など)	- と定は・、・c 健算に市特下メm 康定よ町定記タ以	・健康づくりに取り組んでいる市民の割合は市民意向調査の結果による。 ・健康寿命の年齢は健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班が定めた算定方針と算定プログラムを用いて県保健福祉部健康増進課が算定している。国の算定による都道府県の健康寿命と県の算定による市の健康寿命では算定に用いるデータが異なるため数値に差異が生じており、比較はできないが、国では市町村単位の健康寿命は算定していないため、県の数値を使用する。 ・特定健康受診率は、特定施設入居者・長期入院者を除いた40歳~74歳の国保加入者を対象としている。また、下記の成果指標のその目標値は、国民健康保険第2期データヘルス計画による。 ・メタボリックシンドロームの該当者は、40歳~74歳の国保加入者の特定健診受診者のうち、腹囲男性85cm以上女性90cm以上かつ、血圧130/85以上または服薬治療中、空腹時血糖110以上または、HbA1c6%以上または服薬治療中、中性脂肪150以上または服薬治療中、空腹時血糖110以上または、HbA1c6%以上または服薬治療中、中性脂肪150以上出入コテロール40未満または服薬治療中のうち								
成果指標名	2つ以上記	亥当の割 単位	合平 成循軍 其語 基準値	亥当が1つの割る 令和2 年度	合です。 令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度 目標値	
健康づくりに取り組んで	目標値	%	87.4	87.5	87.6	87.8	87.9	88.0	88.0	
いる市民の割合	実績値	70		84.1	88.0	87.6				
┃ ┃健康寿命(男性)	目標値	- 歳	78.36	78.48	78.60	78.72	78.84	79.00	79.0	
(3312)	実績値			78.36	78.36	79.08				
┃ ┃健康寿命(女性)	目標値	- 歳	83.23	83.29	83.32	83.35	83.38	83.4	83.4	
医原行叩(文任)	実績値			83.23	83.23	82.83				
特定健診受診率(国民健	目標値	- %	44.8	47.8	50.8	53.8	56.8	60.0	- 60.0	
康保険対象者)	実績値			38.5	44.1	44.2				
メタボリックシンドロームの該 当者・予備軍の割合(国民健康 保険対象者)	目標値	%	32.1	31.9	31.8	31.7	31.6	31.5	- 31.5	
PROVINCE /	実績値	7/0		34.1	34.8	34.8				
	目標値									
	実績値									
	目標値									
	実績値									

施策の成果向上に 向けての 住民と行政との 役割分担

市民の役割

・一人一人が健康づくりの主役となり、健康づくりを主体的に取り組むとともに、年 1 回の健康診査を受診し、自らの健康管理をします。

行政の役割

・市民が健康でいきいきと暮らすことができるよう、真岡市健康21プランを積極的に推進します。

2. 実行(Do)→個別事務事業の実施による(事務事業マネジメントシート参照)

3. 検証・評価と今後の方向性(Check&Action)

(1) 施策目標達成に対する要因分析と課題(①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証)

【真岡市健康21プランの推進】について

○健康づくりに取り組んでいる市民の割合 ・健康づくりに取り組んでいる市民の割合 ・健康づくりに取り組んでいる市民の割合は、令和4年度は87.6%と目標値87.8%を0.2%下回った。

○健康寿命

- ・令和4年度に発表となった健康寿命では、男性においては令和4年度の目標を0.36歳上回り、女性においては、0.52歳下回った。
- 女性の健康寿命が下がった要因として、脳梗塞などの脳血管疾患の死亡比が県・県東地区平均より高い状況(H28-R2 県:136.8 県東:156.8 市:169.6)であること。また 県東地区は、日常生活における歩数が県平均より少ない(H28 県:6,510歩 県東:6,051歩)など運動不足の状況にあることなどが考えられます。
- ・脳血管疾患を含む生活習慣病予防対策や若い世代からの運動習慣の推進を更に検討して行く必要があります。

【真岡市国民健康保険データヘルス計画の実施】について

- ○特定健診受診率(国民健康保険者) ・特定健康診査の受診率については、令和元年度は45.4%、令和2年度は38.5%と減少し、令和3年度は、44.1%、令和4年度は、44.2%と0.1%上昇したが目標の53.8%には達 していない
- 要因としては、通院中の人も健診の対象者となるが、通院していることにより健診受診への意識が低いため、通院中の人も効率的に健診を受診できる体制を検討する必要がありま
- ○メタボリックシンドロームの該当者・予備軍の割合(国民健康保険対象者) メタボリックシンドロームの該当者、予備群者の割合については、令和2年度は34.1%で、令和3年度は34.8%と0.7%上昇したが、令和4年度は前年度同様34.8%と増加は見ら れなかった。

増加の抑制につきましては、令和4年度より「メタボ直前期通知」などで、健診前の生活習慣見直しを促す個別通知を開始したことが要因の一つと考えますが、目標には達していないため、更にメタボリックシンドロームの該当者、予備群者の割合を減らすための対策の検討が必要です。 特定健診は、国保加入者40歳から74歳が対象となりますが、早期に若い世代の指導を開始することが重要であるため、30歳代からヤング健診としてメタボリックシンドローム予防 のため、健診と生活習慣見直しの指導を継続していく必要があります。

(2) 今後の方向性((1)の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す)

【真岡市健康21プランの推進】について

○健康づくりに取り組んでいる市民の割合、健康寿命

- ・市民の健康寿命の延伸に向け、各年齢層において適切な健康づくりに取り組むことができるように健康情報の発信に取り組んでで行きます。
- ・学童期から健康に対する意識を高めるために、ペジチェックを活用し、小中学校との連携による食生活教育をとおして、肥満予防や運動推進などに取り組みます。また、子供 を通して、若い親世代に情報の発信をしていきます。(学校:栄養の授業や肥満児指導・市:親子で健康自由研究教室・卒業する親に健康情報の冊子の配布等) ・若い世代には SNS等での健康情報の発信、ヤング健診や生活習慣改善指導により、生活習慣病発症予防の知識の普及を図ります。また、民間ジムを活用レライフスタイルに合 わせた運動の推進を図ります
- 成人期・高齢期には、健診と結果に基づく保健指導を行い健康増進を図ると共に、シルバーサロンやいきいき運動教室など介護予防にも取り組みます。

【真岡市国民健康保険デー

【具両中国民健康保険デーダヘルス計画の実施】について ○特定健診受診率(国民健康保険者) ・特定健診の受診率向上対策として、健診に関心のない市民については、引き続き、市の広報紙やホームページ、SNS、いちごテレビやFMもおかなどによる周知を図っていくととも に、未受診者などのデータを活用し受診行動の変容を促す個別勧奨を実施していきます。また、現在実施している集団健診に加えて、通院中の人が効率的に健診を受けられるよう、か かりつけ医での個別健診を実施していきます。

- がりかけるとの個別健診を実施しているよう。 のメタボリックシンドロームの該当者・予備軍(国民健康保険対象者) ・メタボリックシンドローム該当者、予備群者への対策については、現在行っている個別保健指導に加え、食事や運動を含めたより良い生活習慣の推進について、いちごテレビや 広報、及び地域で健康推進員等が行う健康づくり事業(運動、栄養、健康指導)などを活用し、市民全体に知識の普及啓発を引き続き実施します。また、引き続きメタボ直前期通知 を通して、生活習慣の改善を促しメタボリックシンドロームへの流入者を減らしていきます。
- 男性は30歳~50歳代に肥満が多いことから、若い世代からの働きかけの一つとして、引き続きヤング健診を実施し結果を基に生活改善の必要性を指導し、生活習慣病の発
- 女性は50歳代から肥満が増加していることや脳血管疾患の死亡比が高いことから、更に運動・減塩・高血圧・高コレステロール血症などの脳血管疾患発症要因の知識の普及や指導 に努めて行きます。

4. 構成事業一覧(個別事務事業一覧)

NO	総重、総新	事務事業名	担当	成果	評価結果		
NO戦拡、	戦拡、戦新		担当	成果指標名	単位	令和4 年度実績	今後の方向性
1	戦新	がん患者医療用補整具購入助 成事業	健康増進課地域医療係	医療用ウィッグ助成件数	件	30	現状維持
				乳房補整具助成件数	件	10	現状維持
2		人間ドック・脳ドック受診助 成事業	国保年金課国民健康保険係	利用率(受診者数 / 対象者数)	%	2.8	現状維持
3		健康電話相談事業	国保年金課国民健康保険係	利用率(相談件数 / 被保険者数)	%	13.8	現状維持
4		後期高齢者人間ドック・脳ドック受診助 成事業	国保年金課高齢者医療係	利用率(受診者数 / 対象者数)	%	1.07	現状維持
5		健康診查事業	健康増進課健康づくり係	がん検診受診率(全がん平均)	%	26.6	事業のやり方
				特定健診受診率	%	44.2	事業のやり方
				後期高齢者健診受診率	%	34.5	事業のやり方
6		健康指導事業	健康増進課健康づくり係	健康づくりに取り組んでいる市民の割合 (市民意向調査)	%	87.6	事業のやり方 改善
				メタボリックシンドロームの該当者・ 予備軍の割合(国保)	%	34.8	事業のやり方 改善
7		まちなか保健室事業	健康増進課健康づくり係	利用者数	人	4,063	予算増大
				健康相談者数	人	122	予算増大
8		新型コロナ予防対策強化事業	健康増進課地域医療係/ ワクチン接種推進係	新型コロナワクチン接種率 (3回以上接種率 対人口%)	%	73.2	事業のやり方 改善
			プラブ プロ女性性に応	ワクチン手帳の作成数	₩	0	事業のやり方
				啓発チラシ全戸配布回数		2	事業のやり方 改善